

大学番号 私立286

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

日本経済大学 経営学部 グローバルビジネス学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 都築育英学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

キョウダチョウ カワグチ ヨウコ
教務部長 河口 陽子

電話番号

092-921-9813

（夜間）

092-922-5131

e-mail

kyoumuka@fk.jue.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経営学部

<グローバルビジネス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

添付書類

FD委員会運営規程	38
SD委員会運営規程	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 都築育英学園

(2) 大学名

日本経済大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒818-0197

福岡県太宰府市五条3丁目11番25号

〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町24-5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学部長	(アカセ トモヒデ) 赤瀬 朋秀 (平成28年4月)		
学科長等	ブルーノ カート クリスチャン (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
経営学部	経済学関係	4年	40人	—	160人		平成30年度、福岡キャンパスに、入学定員20人、收容定員80人で設置しましたが、平成31年度、東京渋谷キャンパスにも入学定員20人、收容定員80人で追加設置いたしました。(変更年月:平成30年6月25日届出)(元)
グローバルビジネス学科	経済学関係						
学士(経営学)	経済学関係						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	()	()	20人	0人	40人	0人	40人	0人	40人	0人	0.73倍	— 倍	
志願者数	()	()	19	0	51	0	214	()	86	()			
受験者数	()	()	19	0	49	0	200	()	78	()			
合格者数	()	()	19	0	44	0	92	()	41	()			
B 入学者数	()	()	19	0	25	0	37	()	26	()			
入学定員超過率 B/A			0.95		0.62		0.92		0.65				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	19 [1] (-)	0 [] ()	25 [-] (-)	0 [] ()	37 [3] (-)	0 [] ()	26 [8] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	17 [1] (-)	0 [] ()	24 [-] (-)	0 [] ()	30 [3] (-)	[] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	16 [1] (-)	0 [] ()	20 [-] (-)
4年次	/						/		/		[] ()
計			[] ()	[1] (-)	19 [1] (-)	42 [1] (-)					77 [4] (-)

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	19人	2人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	2人	0人	就職(2人)
令和元年度	42人	2人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	1人	0人	他の教育機関への転学(1人)
			令和元年度	1人	0人	経済的困窮(1人)
令和2年度	77人	12人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	1人	0人	他の教育機関への転学(1人)
			令和元年度	4人	0人	修学意欲の低下(1人)、学力不足(1人)、就職(1人)、他の教育機関への転学(1人)
			令和2年度	7人	0人	修学意欲の低下(4人)、学力不足(2人)、その他(教職免許取得のため経済学科へ転学科(1人))
令和3年度	91人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		16人		16人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

短期大学の学科の設置の場合：□○短期大学 △△学科

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{19} = \boxed{10.52} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{42} = \boxed{4.76} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{77} = \boxed{15.58} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{91} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 語学系	英語 I A	1前	1			1						
	英語 I B	1後	1			1						
	英語 II A	1前	1			1						
	英語 II B	1後	1			1						
	英語 III A	1前	1			1						
	英語 III B	1後	1			1						
	英語 IV A	1前	1				1					
	英語 IV B	1後	1				1					
	英語 V A	2前	1								1	
	英語 V B	2後	1								1	
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	1								1	
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	1								1	
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	1								1	
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	1								1	
	中国語 I A	1前	1								1	
	中国語 I B	1後	1								1	
	中国語 II A	2前	1								1	
	中国語 II B	2後	1								1	
	中国語 III A	3前	1								1	
	中国語 III B	3後	1								1	
ドイツ語 I A	1前	1								1		
ドイツ語 I B	1後	1								1		
ドイツ語 II A	2前	1								1		
ドイツ語 II B	2後	1								1		
フランス語 I A	1前	1								1		
フランス語 I B	1後	1								1		
フランス語 II A	2前	1								1		
フランス語 II B	2後	1								1		
基礎科目 人文科学系	哲学 I	1前	2									1
	哲学 II	1後	2									1
	心理学	1前	2									1
	日本史 I	1前	2			1						
	日本史 II	1後	2			1						
	西洋史	1前	2									1
	東洋史	1後	2									1
	文学	1前	2					1				
	倫理学 I	1前	2									1
	倫理学 II	1後	2									1
	地理学 I	1前	2									1
	地理学 II	1後	2									1
	地域再発見	1前	2									1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 語学系	英語 I A	1前	2			1						1
	英語 I B	1後	2			1						1
	英語 II A	1前	2			1						1
	英語 II B	1後	2			1						1
	英語 III A	1前	2			1			1			
	英語 III B	1後	2			1			1			
	英語 IV A	2前	2						2			
	英語 IV B	2後	2						2			
	英語 V A	2前	1						1	1		
	英語 V B	2後	1						1	1		
	ビジネスイングリッシュ I A	2前	2						1	1		1
	ビジネスイングリッシュ I B	2後	2						1	1		1
	ビジネスイングリッシュ II A	3前	2						2			
	ビジネスイングリッシュ II B	3後	2						2			
	中国語 I A	1前	2									2
	中国語 I B	1後	2									2
	中国語 II A	2前	2									2
	中国語 II B	2後	2									2
	中国語 III A (福岡:未開講)	3前	1									1
	中国語 III B (福岡:未開講)	3後	1									1
ドイツ語 I A	1前	2									2	
ドイツ語 I B	1後	2									2	
ドイツ語 II A	2前	2									2	
ドイツ語 II B	2後	2									2	
フランス語 I A	1前	2									2	
フランス語 I B	1後	2									2	
フランス語 II A	2前	2									2	
フランス語 II B	2後	2									2	
スペイン語 I A	1前	2									2	
スペイン語 I B	1後	2									2	
スペイン語 II A (渋谷:未開講)	2前	2									1	
スペイン語 II B (渋谷:未開講)	2後	2									1	
ロシア語 I A	1前	2									2	
ロシア語 I B	1後	2									2	
ロシア語 II A	2前	2										
ロシア語 II B	2後	2										
基礎科目 人文科学系	哲学 I	1前	2			1						1
	哲学 II	1後	2			1						1
	心のしくみと行動の科学	1前	2									2
	日本史 I	1前	2						1			1
	日本史 II	1後	2						1			1
	西洋史	1前	2						1			1
	東洋史	1後	2									2
	文学をよむ文化を知る	1前	2									2
	倫理学 I	1前	2									2
	倫理学 II	1後	2									2
	地理学 I	1前	2									2
	地理学 II	1後	2									2
	地域再発見	1前	2									2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会科学系	社会学概論	1後	2								1
	政治学Ⅰ	1前	2		1						
	政治学Ⅱ	1後	2		1						
	憲法Ⅰ	1前	2								1
	憲法Ⅱ	1後	2								1
自然科学系	生物学	1前	2								1
	数学	1前	2								1
	ビジネス統計	1後	2								1
	ソシオ・バイオロジー	1後	2								1
	環境論	1前	2								1
基礎保健体育系	健康科学	1前	2								1
	スポーツA	1前	1								1
	スポーツB	1後	1								1
	小計(54科目)	-									
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2			1					
	S.D.Seminar B	1後	2			1					
	地域貢献Ⅰ	1後	2			1					
	情報リテラシー基礎A	1前	2								1
	情報リテラシー基礎B	1後	2								1
	ROSE(海外語学・経済研修)	1前	2			1					
	基礎ゼミA	2前	2			1					
	基礎ゼミB	2後	2			1					
	地域貢献Ⅱ	2後	2			1					
	情報リテラシー応用A	2前	2					1			
	情報リテラシー応用B	2後	2					1			
	キャリアデザインⅠA	2前	2								1
	キャリアデザインⅠB	2後	2								1
	インターンシップ	2前	2								1
	インターンシップ(実習)	2前	2								1
	リーダーシップⅠA	2前	2				1				
	リーダーシップⅠB	2後	2				1				
	専門ゼミⅠA	3前	2			1					
	専門ゼミⅠB	3後	2			1					
	キャリアデザインⅡA	3前	2								1
キャリアデザインⅡB	3後	2								1	
リーダーシップⅡA	3前	2				1					
リーダーシップⅡB	3後	2				1					
専門ゼミⅡA	4前	2			1						
専門ゼミⅡB	4後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会科学系	社会学概論	1後	2								2
	政治学Ⅰ	1前	2		1						1
	政治学Ⅱ	1後	2		1						1
	くらしと法	1前	2					1			1
	日本国憲法	1後	2					1			1
自然科学系	動植物の体のしくみ	1前	2								2
	文系のための数学	1前	2								2
	数字でよみとくビジネス	1後	2								2
	動植物の進化のしくみ(福岡:未開講)	1後	2								1
	環境と社会生活	1前	2								2
基礎科目 情報科学系	情報リテラシーⅠ(ビジネススキル)	1前	2								2
	情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス)	1後	2								2
	情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎)	2前	2					1			1
	情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)	2後	2					1			1
基礎保健体育系	健康科学	1前	2								2
	スポーツA	1前	1								2
	スポーツB	1後	1								2
	スポーツ	1前後									2
	小計(64科目)	-									
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2			1			1		
	S.D.Seminar B	1後	2			1			1		
	地域貢献Ⅰ	1後	2			1					1
	キャリアデザインⅠA	1前	2			1					1
	キャリアデザインⅠB	1後	2			1					1
	情報リテラシー基礎A	1前	2								2
	情報リテラシー基礎B	1後	2								2
	ROSE(海外研修)Ⅰ	1前	2					1			1
	基礎ゼミA	2前	2			1					1
	基礎ゼミB	2後	2			1					1
	地域貢献Ⅱ	2後	2			1					1
	情報リテラシー応用A	2前	2						1		1
	情報リテラシー応用B	2後	2						1		1
	キャリアデザインⅡA	2前	2								2
	キャリアデザインⅡB	2後	2								2
	インターンシップ	2前	2								2
	インターンシップ(実習)	2前	2								2
	リーダーシップⅠA	2前	2				1				1
	リーダーシップⅠB	2後	2				1				1
	ROSE(海外研修)Ⅱ	2前						1			1
専門ゼミⅠA	3前	2				2		1			
専門ゼミⅠB	3後	2				2		1			
キャリアデザインⅢA	3前	2								2	
キャリアデザインⅢB	3後	2								2	
リーダーシップⅡA	3前	2						2			
リーダーシップⅡB	3後	2						2			
ROSE(海外研修)Ⅲ	3前									2	
専門ゼミⅡA	4前	2				2					
専門ゼミⅡB	4後	2				2					
卒業論文A	4前		2				2				
卒業論文B	4後		2				2				
卒業研究	4通		4								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2								1
	経営学 B	1後	2								1
	経済学 A	1前	2		1						
	経済学 B	1後	2		1						
	簿記原理 I A	1前	2								1
	簿記原理 I B	1後	2								1
	アカデミックライティング I A	1前	1		1						
	アカデミックライティング I B	1後	1		1						
	総合英語 I A	1前	1								1
	総合英語 I B	1後	1								1
	マーケティング論 A	2前	2		1						
	マーケティング論 B	2後	2		1						
	会計学 A	2前	2								1
	会計学 B	2後	2								1
	情報処理論 A	2前	2								1
	情報処理論 B	2後	2								1
	経営組織論	2前	2								1
	会社法	2後	2								1
	資源環境・エネルギー論	2前	2								1
	アカデミックライティング II A	2前	1		1						
	アカデミックライティング II B	2後	1		1						
	総合英語 II A	2前	1		1						
	総合英語 II B	2後	1		1						
	国際関係論	2前	2								1
	国際経済学A	2前	2		1						
	国際経済学B	2後	2		1						
	国際経営論	3前	2								1
	ICTビジネス講座	3前	2								1
	経営管理論A	3前	2								1
	経営管理論B	3後	2								1
	外書講読	3前	2				1				
	ホスピタリティ ビジネス	3後	2								1
国際政治外交史	4前	2								1	
国際金融論	4後	2								1	
小計(59科目)	-	-									
合計(113科目)	-	-									
卒業要件及び履修方法											
大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：1年次44単位、2～4年次48単位（年間））											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2								2
	経営学 B	1後	2								2
	経済学 A	1前	2		1						1
	経済学 B	1後	2		1						1
	簿記入門	1前	2								2
	簿記初級	1後	2								2
	アカデミックライティング I A	1前	1		1		1	1			1
	アカデミックライティング I B	1後	1		1		1	1			1
	総合英語 I A	1前	1								2
	総合英語 I B	1後	1								2
	EIP(インテック海外研修) I	1前	2				1				1
	マーケティング論 A	2前	2		1						1
	マーケティング論 B	2後	2		1						1
	会計学 A	2前	2								2
	会計学 B	2後	2								2
	情報処理論 A	2前	2								2
	情報処理論 B	2後	2								2
	経営組織論	2前	2				1				1
	会社法	2後	2				1				1
	資源環境・エネルギー論	2前	2								2
	アカデミックライティング II A	2前	1		1		2				
	アカデミックライティング II B	2後	1		1		2				
	総合英語 II A	2前	1		1						1
	総合英語 II B	2後	1		1						1
	EIP(インテック海外研修) II	2前	2								1
	国際関係論	2前	2					1			1
	国際経済学A	2前	2		1						1
	国際経済学B	2後	2		1						1
	エアラインビジネス論	2後	2								
	エアライン実務A	2前	2								
	エアライン実務B	2前	2								
	国際経営論	3前	2								2
ICTビジネス講座	3前	2								2	
経営管理論A	3前	2								2	
経営管理論B	3後	2								2	
外書講読	3前	2				1				1	
ホスピタリティ ビジネス	3後	2								1	
航空産業論	3後	2									
国際政治外交史	4前	2								1	
国際金融論	4後	2								1	
小計(72科目)	-	-									
合計(136科目)	-	-									
卒業要件及び履修方法											
大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：1年次44単位、2～4年次48単位（年間））											

小計(61科目)	-									
合計(115科目)	-									
卒業要件及び履修方法										
<p>大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：1年次44単位、 2～4年次48単位（年間））</p>										

小計(61科目)	-									
合計(123科目)	-									
卒業要件及び履修方法										
<p>大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：1年次44単位、 2～4年次48単位（年間））</p>										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前		1			1				1
	英語ⅠB	1後		1							1
	英語ⅡA	1前		1			1				1
	英語ⅡB	1後		1			1				1
	英語ⅢA	1前		1			1				1
	英語ⅢB	1後		1			1				1
	英語ⅣA	1前		1							2
	英語ⅣB	1後		1							2
	英語ⅤA	2前		1		1					1
	英語ⅤB	2後		1		1					1
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前		1			1				1
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後		1			1				1
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前		1			1				
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後		1			1				
	中国語ⅠA	1前		1							2
	中国語ⅠB	1後		1							2
	中国語ⅡA	2前		1							2
	中国語ⅡB	2後		1							2
	中国語ⅢA	3前		1							1
	中国語ⅢB	3後		1							1
	ドイツ語ⅠA	1前		1							2
	ドイツ語ⅠB	1後		1							2
	ドイツ語ⅡA	2前		1							2
	ドイツ語ⅡB	2後		1							2
	フランス語ⅠA	1前		1							2
	フランス語ⅠB	1後		1							2
	フランス語ⅡA	2前		1							2
	フランス語ⅡB	2後		1							2
	スペイン語ⅠA(渋谷:未開講)	1前		1							1
	スペイン語ⅠB(渋谷:未開講)	1後		1							1
スペイン語ⅡA(渋谷:未開講)	2前		1							1	
スペイン語ⅡB(渋谷:未開講)	2後		1							1	
基礎科目 人文科学系	哲学Ⅰ	1前		2		1					1
	哲学Ⅱ	1後		2		1					1
	心のしくみと行動の科学	1前		2							2
	日本史Ⅰ	1前		2							2
	日本史Ⅱ	1後		2							2
	西洋史	1前		2							2
	東洋史	1後		2							2
	文学をよむ文化を知る	1前		2							2
	倫理学Ⅰ	1前		2							2
	倫理学Ⅱ	1後		2							2
	地理学Ⅰ	1前		2							2
	地理学Ⅱ	1後		2							2
	地域再発見	1前		2							2
基礎科目 社会科学系	社会学概論	1後		2							2
	政治学Ⅰ	1前		2		1					1
	政治学Ⅱ	1後		2		1					1
	くらしと法	1前		2							2
	日本国憲法	1後		2							2
基礎科目 自然科学系	動植物の体のしくみ	1前		2							2
	文系のための数学	1前		2							2
	数字でよみとくビジネス	1後		2							2
	動植物の進化のしくみ	1後		2							2
	環境と社会生活	1前		2							2
基礎科目 情報科学系	情報リテラシーⅠ	1前		2							2
	情報リテラシーⅡ	1後		2							2
	情報リテラシーⅢ	2前		2							
	情報リテラシーⅣ	2後		2							
基礎科目 育保体系	健康科学	1前		2							2
	スポーツA	1前		1							2
	スポーツB	1後		1							2
小計(62科目)	-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2			1	1					
	S.D.Seminar B	1後	2			1	1					
	地域貢献 I	1後		2				1				1
	キャリアデザイン I A	1前		2				1				1
	キャリアデザイン I B	1後		2				1				1
	情報リテラシー基礎 A	1前		2								2
	情報リテラシー基礎 B	1後		2								2
	ROSE(海外研修) I	1前		2				1				1
	基礎ゼミ A	2前	2				1	1				
	基礎ゼミ B	2後	2				1	1				
	地域貢献 II	2後		2					1			1
	情報リテラシー応用 A	2前		2						1		1
	情報リテラシー応用 B	2後		2						1		1
	キャリアデザイン II A	2前		2								2
	キャリアデザイン II B	2後		2								2
	インターンシップ	2前		2								2
	インターンシップ(実習)	2前		2			1					1
	リーダーシップ I A	2前		2			1	1				
	リーダーシップ I B	2後		2			1	1				
	ROSE(海外研修) II	2前										
	専門ゼミ I A	3前	2					1				
	専門ゼミ I B	3後	2					1				
	キャリアデザイン III A	3前		2								
	キャリアデザイン III B	3後		2								
	リーダーシップ II A	3前		2					1			
	リーダーシップ II B	3後		2					1			
	ROSE(海外研修) III	3前										
	専門ゼミ II A	4前	2									
	専門ゼミ II B	4後	2									
	卒業論文 A	4前		2								
卒業論文 B	4後		2									
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2						1			1
	経営学 B	1後	2						1			1
	経済学 A	1前		2		1						1
	経済学 B	1後		2		1						1
	簿記原理 I A	1前		2								2
	簿記原理 I B	1後		2								2
	アカデミックライティング I A	1前		1				1				1
	アカデミックライティング I B	1後		1				1				1
	総合英語 I A	1前		1								2
	総合英語 I B	1後		1								2
	マーケティング論 A	2前		2		1			1			
	マーケティング論 B	2後		2		1			1			
	会計学 A	2前		2								2
	会計学 B	2後		2								2
	情報処理論 A	2前		2								2
	情報処理論 B	2後		2								2
	経営組織論	2前		2								2
	会社法	2後		2								2
	資源環境・エネルギー論	2前		2								2
	アカデミックライティング II A	2前		1				1				1
アカデミックライティング II B	2後		1				1				1	
総合英語 II A	2前		1		1						1	
総合英語 II B	2後		1		1						1	
国際関係論	2前		2								2	
国際経済学A	2前		2		1						1	
国際経済学B	2後		2		1						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 学科専門科目	国際経営論	3前		2								1
	ICTビジネス講座	3前		2								1
	経営管理論A	3前		2								1
	経営管理論B	3後		2								1
	外書講読	3前		2								1
	ホスピタリティビジネス	3後		2								1
	国際政治外交史	4前		2								
	国際金融論	4後		2								
小計(61科目)	-											
合計(123科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：1年次44単位、2～4年次48単位（年間））												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。
 （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学生の資質向上を図るため、新規科目として専門科目『SDプログラム』に「卒業論文A・B」（4年次配当科目、各2単位）を追加。
- ・時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員の配置を「教授」から「准教授」に変更。
- ・時間割編成において、「英語ⅣA・B」の教員配置を「専任准教授」から「兼任講師」に変更。

【令和元年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置（入学定員：20人）したため、1年次配当科目58科目分の専任教員等の配置を追加。
渋谷：専任教授1名「S. D. Seminar A」「S. D. Seminar B」担当。渋谷：専任講師1名「経営学A」「経営学B」担当。その他の科目：兼任・兼任教員が担当。
- ・福岡：専任教授辞任により、「日本史Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「専任教授」から「兼任教授」に変更。
- ・福岡：専任教授辞任により、「ROSE(海外語学・経済研修)」の専任教員等の配置を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
- ・福岡：専任講師辞任により、「文学をよむ文化を知る(旧:文学)」の専任教員等の配置を「専任講師」から「兼任講師」に変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅡA・B」の専任教員等の配置を「教授」から「准教授」に変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員等の配置を「教授」から「講師」に変更。
- ・グローバルな国際社会で活躍できるよう、「基礎科目 語学系」の第二外国語に新規科目「スペイン語ⅠA・B」（1年次配当科目、各1単位）及び「スペイン語ⅡA・B」（2年次配当科目、各1単位）を追加。
- ・新生生の履修登録において、授業科目名から容易に授業の内容をイメージできるよう平易な科目名に変更。
「心理学」を「心のしくみと行動の科学」、「文学」を「文学をよむ文化を知る」、「文章表現論」を「ビジネスライティング（文章表現）」、「情報社会学」を「ソーシャルメディアとコミュニケーション」、「憲法Ⅰ」を「くらしと法」、「憲法Ⅱ」を「日本国憲法」、「生物学」を「動植物の体のしくみ」、「数学」を「文系のための数学」、「ビジネス統計」を「数学でよみとくビジネス」、「ソシオバイオロジー」を「動植物の進化のしくみ」、「環境論」を「環境と社会生活」に、それぞれ変更した。

【令和2年度】

1. 全般
平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置したことにより、令和2年度、渋谷の2年次配当科目開講に伴う、基礎科目12科目、専門科目27科目、計39科目分の専任教員等の配置を追加した。
なお、渋谷の専任教授1名が「基礎ゼミA・B」及び「リーダーシップⅠA・B」を担当。また、専任講師1名が「マーケティング論A・B」を担当するとともに、その他の科目については兼任・兼任教員が担当した。
2. 専任教員等の配置の変更
・福岡：専任教授辞任により、「基礎ゼミA・B」「地域貢献Ⅱ」の専任教員等の配置を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
・福岡：専任教授辞任により、「アカデミックライティングⅠA・B」及び「アカデミックライティングⅡA・B」を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
・福岡：専任教授の新規配置により、「インターンシップ(実習)」を「兼任講師」から「専任教授」に変更。
・福岡：専任講師辞任（令和元年度）により、「外書講読」（3年次配当科目）の専任教員等の配置を「専任教授」に予定していたが時間割編成において、「兼任講師」に変更。
・福岡：兼任講師辞任により、「経営組織論」の専任教員等の配置を「兼任講師」に変更。
・福岡：専任教授の学科配置により、「インターンシップ(実習)」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「専任教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員等の配置を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「英語ⅤA・B」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「専任教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「ビジネスイングリッシュⅠA・B」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「専任准教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「ビジネスイングリッシュⅡA・B」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「専任准教授」に変更。
・福岡：時間割編成において、「情報処理論A・B」の専任教員等の配置を「兼任教授」から「兼任講師」に変更。
・渋谷：時間割編成において、「アカデミックライティングⅠA・B」の専任教員等の配置を「兼任教授」から「専任准教授」に変更。
・渋谷：時間割編成において、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任教授」から「兼任准教授」に変更。
・渋谷：時間割編成において、「文系のための数学(旧:数学)」の専任教員等の配置を「兼任講師」から「兼任講師」に変更。
・渋谷：「スペイン語ⅠA・B」及び「スペイン語ⅡA・B」を未開講のため、「兼任講師」2名から1名(福岡のみ)に変更。
3. 授業科目名の変更（「情報リテラシー」科目）
PCの操作スキルを含む情報処理の能力は、社会人に求められる不可欠な技能であり、その育成は教養教育の範疇に入るものであることから、今まで「専門科目」群に配置していた「情報リテラシー基礎A・B」「情報リテラシー応用A・B」の計4科目を「基礎(教養)科目」群に移設した。
その際、新たに「情報科学系」を設置するとともに、「社会科学系」から「ソーシャルメディアとコミュニケーション」を移設し計5科目を配置した。
なお、授業科目名は、「情報リテラシー基礎A」を「情報リテラシーⅠ」、「情報リテラシー基礎B」を「情報リテラシーⅡ」、「情報リテラシー応用A」を「情報リテラシーⅢ」、「情報リテラシー応用B」を「情報リテラシーⅣ」とした。
4. 授業科目名の変更および新規科目の追加（「ROSE(海外語学・経済研修)」）
「ROSE(海外語学・経済研修)」については、近年、海外提携校等の大幅な増加に伴い、在籍間に2回～3回と短期留学を行う学生が漸増していることから、2年次・3年次配当の短期留学に関する授業科目を追加。また研修目的も語学のみならず文化研修等、多岐に亘っていることから、副題を「海外研修」とした。
なお、授業科目名を「ROSE(海外研修)Ⅰ」（1年次配当科目:2単位）に変更するとともに、新規に「ROSE(海外研修)Ⅱ」（2年次配当科目:2単位）、「ROSE(海外研修)Ⅲ」（3年次配当科目:2単位）を追加した。
5. 配当年次の変更および新規科目の追加（「キャリアデザイン」科目）
1年次から就職活動に対する意識を涵養するとともに、1年次から3年次まできめ細かなキャリア教育を実施するため、今まで2年次配当科目であった「キャリアデザインⅠA・B」を1年次配当科目へ、同じく3年次配当科目であった「キャリアデザインⅡA・B」を2年次配当科目へ移設するとともに、新規に「キャリアデザインⅢA・B」（3年次配当科目:各2単位）を追加した。

【令和3年度】

1. 配当年次の変更

「英語ⅣA」・「英語ⅣB」を1年次配当から2年次配当に変更した。

2. 専任教員等の配置の変更

- ・福岡：より細やかな研究指導を実施するため、「専門ゼミⅠA・B」及び「専門ゼミⅡA・B」並びに「卒業論文A・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「専任教授2」に変更。
- ・福岡：専任講師の新規採用に伴い、「日本史Ⅰ・Ⅱ」及び「英語ⅣA・B」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任講師1」に変更、並びに「国際関係論」の専任教員等の配置を「兼任教授1」から「専任講師1」に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「アカデミックライティングⅠA・B」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任講師1」に担当者変更。
- ・福岡：専任教授の他学科異動に伴い、「英語ⅤA・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「専任講師1」に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「S. D. Seminar A・B」及び「地域貢献Ⅰ」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任教授1」に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「基礎ゼミA・B」及び「地域貢献Ⅱ」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任教授1」に担当者変更。
- ・福岡：准教授から教授への昇任に伴い、「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任教授1」に変更。
- ・福岡：准教授から教授への昇任に伴い、「英語Ⅰ～Ⅲ」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「専任教授1」に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「外書講読」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任准教授1」に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「くらしと法(旧:憲法Ⅰ)」及び「日本国憲法(旧:憲法Ⅱ)」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任准教授1」に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「会社法」の専任教員等の配置を「兼任教授1」から「専任准教授1」に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「経営組織論」の専任教員等の配置を「兼任講師1」から「専任准教授1」に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「インターンシップ(実習)」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「兼任講師1」に担当者変更。
- ・渋谷：専任教授の辞任により、「S. D. Seminar A・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から新規採用「専任講師1」に、「基礎ゼミA・B」「リーダーシップⅠA・B」の専任教員等の配置を「専任教授1」から「兼任准教授1」に担当者変更。
- ・渋谷：専任講師の辞任により、「経営学A・B」「マーケティング論A・B」の専任教員等の配置を「専任講師1」から「兼任准教授1」に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「国際経済学A・B」の専任教員等の配置を「専任准教授1」から「兼任教授1」に担当者変更。
- ・渋谷：担当教員の学科異動に伴い、「アカデミックライティングⅠ」及び「アカデミックライティングⅡ」の専任教員等の配置を「兼任准教授1」から「専任准教授1」に担当者変更。

3. 授業科目名の変更

- ・授業内容をより的確に表現し学生の履修を容易にするため、基礎：教養科目「情報リテラシーⅠ～Ⅳ」に副題を付けることとし、それぞれ「情報リテラシーⅠ(ビジネススキル)」、「情報リテラシーⅡ(AⅠ・データサイエンス)」、「情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎)」、「情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)」に、授業科目名を変更した。
- ・「卒業論文A・B」は、現行、半期2単位としているが、作成から発表までの過程を含め総合的に評価すべきことから、通年4単位に変更した。また、成果形態の多様性に対応するため、「論文」から「研究」に修正し、授業科目名を「卒業研究」に変更した。
- ・「簿記原理」は、現在、学会において主流となっている授業科目名とするため、「簿記原理ⅠA」を「簿記入門」に、「簿記原理ⅠB」を「簿記初級」にそれぞれ科目名称を変更した。

4. 新規科目の追加

- ・グローバルな国際社会で活躍できるよう、「基礎：語学系科目」の第二外国語GPに、新たに「ロシア語ⅠA・B」(1年次配当科目、各2単位)及び「ロシア語ⅡA・B」(2年次配当科目、各2単位)を追加。
- ・学生の語学留学を推進するため、「EIP(インテンシブ海外研修)Ⅰ」(1年次配当)及び「EIP(インテンシブ海外研修)Ⅱ」(2年次配当)を追加。
- ・学生の就職希望の中に「修得した語学力を活かし、将来、航空業界の仕事に就きたい」との希望があり、新たに「エアラインビジネス論」「エアライン実務A・B」(2年次配当)及び「航空産業論」(3年次配当)の4科目追加。

5. 単位数の変更

学生の学修意欲の向上を狙い、基礎科目の「語学系科目」及び「保健体育系科目(スポーツ)」を実習科目から演習科目とし、それぞれ1単位から2単位に変更した。

<2単位に変更した科目>

- ・第一外国語「英語Ⅰ～Ⅳ」「ビジネスイングリッシュⅠ・Ⅱ」及び第二外国語「中国語Ⅰ・Ⅱ」「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「フランス語Ⅰ・Ⅱ」「スペイン語Ⅰ・Ⅱ」をそれぞれ1単位から2単位に変更した。
- ・保健体育系科目：現行の「スポーツA」「スポーツB」をいずれも「スポーツ」に授業科目名を変更するとともに2単位とした。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	103 科目	0 科目	113 科目	10 科目 []	126 科目 [+23]	0 科目 []	136 科目 [+23]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	スペイン語ⅡA	1	2	一般	選択	昨年度、新たに第二外国語「スペイン語」を開講したが、昨年度は担当者の手配ができず、今年度からの開講となり、レベルⅠを開講。レベルⅡは来年度開講。(渋谷)
2	スペイン語ⅡB	1	2	一般	選択	
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	英語ⅤA	1	2	一般	選択	第一外国語「英語」は、レベルⅠからレベルⅤまでの5段階で開講していたが、レベルⅤは履修者数が極めて少なく、より効率的なクラス運用とするため、レベルⅣまでに縮小した。
2	英語ⅤB	1	2	一般	選択	
3	中国語ⅢA	1	3	一般	選択	第二外国語「中国語」は、レベルⅠからレベルⅢまで開講していたが、レベルⅢは履修者数が極めて少ないため、レベルⅡまでに縮小した。
4	中国語ⅢB	1	3	一般	選択	
5	動植物の進化のしくみ	2	1	一般	選択	基礎科目(自然科学系)の中に、本科目と「動植物の体のしくみ」を開講していたが、2つの内容を統合した授業内容に変更し「動植物の体のしくみ」のみを開講することとした。
6	スポーツB	1	1	一般	選択	基礎科目(保健体育系)に、前期「スポーツA」及び後期「スポーツB」を開講していたが、前・後期いずれも「スポーツ」の科目名称とし、「A」「B」の区分を外した。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度新設の「スペイン語Ⅱ」未開講(渋谷)については、今年度から担当教員を新規に採用することができ、令和3年度は「スペイン語Ⅰ(1年次配当)」を開講する。なお、「スペイン語Ⅱ(2年次配当)」は令和4年度以降開講する。 ・ カリキュラム改訂において、難易度が最も高い、第一外国語「英語Ⅴ」及び第二外国語「中国語Ⅲ」は、履修者数が極めて少ないことから、より効率的なクラス運用に資するようレベル数を縮小し、当該レベルを廃止科目とした。なお、よりグローバル化に対応するため、第二外国語に新たに「ロシア語Ⅰ」「ロシア語Ⅱ」を追加した。 ・ 基礎科目(自然科学系)「動植物の進化のしくみ」については、同一系の中に「動植物の体のしくみ」が在り、2つの内容を統合した授業内容で「動植物の体のしくみ」を開講することにより、学生がより幅広く基礎科目を履修できるよう、本科目を廃止とした。 ・ 基礎科目(保健体育系)「スポーツ」については、より多くの学生にスポーツの効果を実感させるよう学生の学修意欲の向上を狙いとし、演習科目(半期2単位)とするとともに、「スポーツA」「スポーツB」の区分を無くし、前・後期いずれも「スポーツ」とした。 ・ 今年度のカリキュラム改訂において、基礎科目の見直し(専門科目は不変)を行ったが、基礎科目の卒業要件(語学系科目: 選択必修科目8単位以上、教養科目: 選択科目12単位以上、計34単位以上)に対し、語学系科目(32科目、64単位)、教養科目(28科目、56単位)、計60科目、120単位を開講しており、いずれも幅広い選択肢の中から学修することが可能であることから、学生への影響は小さいものと思料する。 <p>「学生への周知方法」</p> <p>履修登録時における担当教員による履修指導及び配布する時間割表において、周知を徹底した。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{8}{113} = \boxed{7.07} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	渋谷キャンパスの運動場用地は、日本薬科大学運動場10,000㎡を共同利用、法令上の必要面積小計3,663.94㎡ その他 0.00㎡ 合計 3,663.94㎡。共用は福岡こども短期大学との共用。		
	校舎敷地	59,741.02㎡	0㎡	0㎡	59,741.02㎡			
	運動場用地	17,629.01㎡	7,229.03㎡	0㎡	24,858.04㎡			
	小 計	77,370.03㎡	7,229.03㎡	0㎡	84,599.06㎡			
	そ の 他	49,064.62㎡	0㎡	0㎡	49,064.62㎡			
	合 計	126,434.65㎡	7,229.03㎡	0㎡	133,663.68㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		88,148.68㎡ (88,148.68㎡)	1,778.00㎡ (1,778.00㎡)	0㎡ (0㎡)	89,926.68㎡ (89,926.68㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 82 室	演 習 室 34 室	実験実習室 8 室	情報処理学習施設 7 室 (補助職員 5人)	語学学習施設 3 室 (補助職員 5人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 経営学部 グローバルビジネス学科		室 数 11 -10 -8	平成31年4月、渋谷キャンパスにおいて専任教授1名、専任講師1名を新規配置のため(元)令和2年4月、福岡キャンパスにおいて専任准教授1名を新規採用のため(2)			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部、学科での特定が不能なため、大学全体の数
	経営学部 グローバルビジネス学科	185,285 [69,255] (165,285 [42,800])	289 [267] (311 [109])	2,714 [2,714] (2714 [2714])	2,195 (1,635)	37,837 (37,837)	0	
	計	185,285 [69,255] (165,285 [42,800])	289 [267] (311 [109])	2,714 [2,714] (2714 [2714])	2,195 (1,635)	37,837 (37,837)	0	
(6) 図 書 館	面 積	2,764㎡	閱 覧 座 席 数	641席	収 納 可 能 冊 数	210,000冊	大学全体	
(7) 体 育 館	面 積	1,392.02㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 テニスコート1面、柔道場1、武道場1			大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	5,000千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	985千円	835千円	835千円	835千円	835千円	835千円
		第2年次	835千円	835千円	835千円	835千円	835千円	835千円
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし						

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	日本経済大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
経済学部	4	610		2,140		1.03	0.89	-	昭和43		
経済学科	4	160	-	600	学士(経済学)	1.11	1.03	-	昭和43	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	令和2年定員変更(20)
商学科	4	230	-	920	学士(経済学)	1.06	1.00	-	平成17	同上	
経営法学科	4	-	-	120	学士(経済学)	0.64	-	-	平成19	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	令和2年学生募集停止(△60)
健康スポーツ経営学科	4	220	-	500	学士(健康スポーツ経営学)	1.02	0.68	-	平成24	同上	令和2年定員変更(40) 令和3年定員変更(100)
経営学部	4	800		3,500		1.12	1.00		平成26		
経営学科	4	680	-	3,120	学士(経営学)	1.17	1.02	令和3	平成26	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号 東京都渋谷区桜丘町24-5	平成30年定員変更(△20) 平成31年定員変更(△100) 令和3年定員変更(△100)
グローバルビジネス学科	4	40	-	140	学士(経営学)	0.73	0.65	平成31	平成30	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号 東京都渋谷区桜丘町24-5	平成31年定員変更(20)
芸術プロデュース学科	4	80	-	240	学士(経営学)	0.91	1.00		平成31	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号 東京都渋谷区桜丘町24-5	
大学全体	-	1,410	-	5,640	-	-	-	-	-	-	
経営学研究科											
経営学専攻(博士前期課程)	2	20	-	40	修士(経営学)	0.85	0.85	-	平成24	東京都渋谷区桜丘町24-5	
経営学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士(経営学)	0.11	0.33	-	平成26	同上	
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」											
大学 の 名 称	福岡子ども短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
子ども教育学科	2	300	-	600	短期大学士(子ども教育)	0.60	0.56	-	昭和51年度	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	
大学全体	-	300	-	600	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授	ブルノット クリスティアン <平成30年4月> 修士(経営学)	ブルノット クリスティアン <平成30年4月> 修士(経営学)	ブルノット クリスティアン <平成30年4月> 修士(経営学)	ブルノット クリスティアン <平成30年4月> 修士(経営学)	ブルノット クリスティアン <平成30年4月> 修士(経営学)
		専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB マーケティング論A マーケティング論B 国際経済学A 国際経済学B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ	専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB マーケティング論A マーケティング論B 国際経済学A 国際経済学B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ	専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 国際経済学A 国際経済学B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 外書講読	専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 国際経済学A 国際経済学B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ	専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 国際経済学A 国際経済学B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ
専任	教授	ルン スタン デイトン <平成30年4月> 修士(日本学) イギリス修士(経済学)	ルン スタン デイトン <平成30年4月> 修士(日本学) イギリス修士(経済学)			
		日本史Ⅰ 日本史Ⅱ ROSE(海外語学・経済研修) 経済学A 経済学B	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ ROSE(海外語学・経済研修) 経済学A 経済学B			
専任	教授	クリグ ユアン <平成30年4月> 修士(国際マーケティング学) 修士(経済学)		クリグ ユアン <平成30年4月> 修士(国際マーケティング学) 修士(経済学)	クリグ ユアン <平成30年4月> 修士(国際マーケティング学) 修士(経済学)	クリグ ユアン <平成30年4月> 修士(国際マーケティング学) 修士(経済学)
		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 経済学A 経済学B マーケティング論A マーケティング論B		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 経済学A 経済学B マーケティング論A マーケティング論B	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 経済学A 経済学B マーケティング論A マーケティング論B	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 経済学A 経済学B マーケティング論A マーケティング論B
専任	教授	濱田 幸裕 <平成30年4月> 文学士	濱田 幸裕 <平成30年4月> 文学士	濱田 幸裕 <平成30年4月> 文学士		
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 基礎ゼミA 基礎ゼミB 地域貢献Ⅱ 総合英語ⅡA 総合英語ⅡB	英語ⅡA 英語ⅡB 基礎ゼミA 基礎ゼミB 地域貢献Ⅱ 総合英語ⅡA 総合英語ⅡB	基礎ゼミA 基礎ゼミB 地域貢献Ⅱ 総合英語ⅡA 総合英語ⅡB		
専任	教授	ネルソン フミコ <平成30年4月> 学士(経済学)	ネルソン フミコ <平成30年4月> 学士(経済学)	ネルソン フミコ <平成30年4月> 学士(経済学)		
		777 ミツウイディングⅠA 777 ミツウイディングⅠB 777 ミツウイディングⅡA 777 ミツウイディングⅡB	777 ミツウイディングⅠA 777 ミツウイディングⅠB 777 ミツウイディングⅡA 777 ミツウイディングⅡB	777 ミツウイディングⅠA 777 ミツウイディングⅠB 777 ミツウイディングⅡA 777 ミツウイディングⅡB		
専任	教授	竹田 知子 <令和2年4月> 学士(文学)		竹田 知子 <令和2年4月> 学士(文学)	竹田 知子 <令和2年4月> 学士(文学)	竹田 知子 <令和2年4月> 学士(文学)
		S.D.Seminar A S.D.Seminar B 地域貢献Ⅰ 基礎ゼミA 基礎ゼミB 地域貢献Ⅱ		地域貢献Ⅰ 基礎ゼミA 基礎ゼミB 地域貢献Ⅱ	地域貢献Ⅰ 基礎ゼミA 基礎ゼミB 地域貢献Ⅱ	S.D.Seminar A S.D.Seminar B 地域貢献Ⅰ 基礎ゼミA 基礎ゼミB 地域貢献Ⅱ
専任	教授	高橋 宏誠 <平成31年4月> 博士(学術)		高橋 宏誠 <令和元年4月> 博士(学術)	高橋 宏誠 <令和元年4月> 博士(学術)	
		S.D.Seminar A S.D.Seminar B 基礎ゼミA 基礎ゼミB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB		S.D.Seminar A S.D.Seminar B 基礎ゼミA 基礎ゼミB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB	S.D.Seminar A S.D.Seminar B 基礎ゼミA 基礎ゼミB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB	
専任	准教授	麻生 雅樹 <平成30年4月> 修士(文学)	麻生 雅樹 <平成30年4月> 修士(文学)	麻生 雅樹 <平成30年4月> 修士(文学)	麻生 雅樹 <平成30年4月> 修士(文学)	麻生 雅樹 <平成30年4月> 修士(文学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅣA 英語ⅣB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB	S.D.Seminar A S.D.Seminar B 地域貢献Ⅰ 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB	S.D.Seminar A S.D.Seminar B 地域貢献Ⅰ 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB	専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業論文A 卒業論文B 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB 総合英語ⅡA 総合英語ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
専	准教授	榎 健太郎 <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ		専	准教授	榎 健太郎 <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ		専	准教授	榎 健太郎 <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ		専	准教授	榎 健太郎 <平成30年4月> 学士(国際開発学)アメリカ		
		S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献 I リーダーシップ II A リーダーシップ II B				S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献 I リーダーシップ II A リーダーシップ II B				ROSE(海外研修) I (旧:ROSE(海外研修・経済研修)) ROSE(海外研修) II ROSE(海外研修) III EIP(インテック海外研修) I EIP(インテック海外研修) II リーダーシップ II A リーダーシップ II B ビジネスイノベーション II A ビジネスイノベーション II B				ROSE(海外研修) I (旧:ROSE(海外研修・経済研修)) ROSE(海外研修) II ROSE(海外研修) III EIP(インテック海外研修) I EIP(インテック海外研修) II リーダーシップ II A リーダーシップ II B ビジネスイノベーション II A ビジネスイノベーション II B 外書講読		
専	講師	7レクシグ - フクト'ル <平成30年4月> 学士(文学) イギリス		専	講師	7レクシグ - フクト'ル <平成30年4月> 学士(文学) イギリス		専	講師	7レクシグ - フクト'ル <平成30年4月> 学士(文学) イギリス		専	講師	7レクシグ - フクト'ル <平成30年4月> 学士(文学) イギリス		
		文学 外書講読				文学 外書講読				ジョセフ マイヨール <平成30年4月> 修士(文学) イギリス				ジョセフ マイヨール <平成30年4月> 修士(文学) イギリス		
								福岡 専	教授	英語 III A 英語 III B		福岡 専	教授	英語 V A 英語 V B 総合英語 II A 総合英語 II B		
												福岡 専	准教授	メル ヒサト ハヤシ <令和2年4月> 修士(経営管理学) 米		
												福岡 専	准教授	英語 III A 英語 III B ビジネスイノベーション I A ビジネスイノベーション I B 7&7'ミツライイイング' I A 7&7'ミツライイイング' I B 7&7'ミツライイイング' II A 7&7'ミツライイイング' II B		
												福岡 専	准教授	くらしと法 (旧:憲法 I) 日本国憲法 (旧:憲法 II) ビジネスイノベーション I A ビジネスイノベーション I B		
専	講師	ニューマン グリム <平成31年4月> 修士(日本語) イギリス		専	講師	ニューマン グリム <平成31年4月> 修士(日本語) イギリス		専	講師	ニューマン グリム <平成31年4月> 修士(日本語) イギリス		専	講師	ニューマン グリム <令和元年4月> 修士(日本語) イギリス		
		情報リテラシー応用 A 情報リテラシー応用 B				情報リテラシー応用 A 情報リテラシー応用 B				情報リテラシー III (旧:情報リテラシー応用 A) 情報リテラシー IV (旧:情報リテラシー応用 B)				情報リテラシー III (旧:情報リテラシー応用 A) 情報リテラシー IV (旧:情報リテラシー応用 B)		
												福岡 専	講師	スベラタ マリア <令和3年4月> 修士(国際経営学)		
												福岡 専	講師	日本語 I 日本語 II 英語 IV A 英語 IV B 英語 V A 英語 V B 7&7'ミツライイイング' I A 7&7'ミツライイイング' I B 国際関係論		
								渋谷 専	講師	7&7'ミツライイイング' マナリ <平成31年4月> 博士(ソーシャルイノベーション)		渋谷 専	講師	7&7'ミツライイイング' マナリ <令和元年4月> 博士(ソーシャルイノベーション)		
										経営学 A 経営学 B マーケティング論 A マーケティング論 B				経営学 A 経営学 B マーケティング論 A マーケティング論 B		
兼担	教授	新井 敦子 <平成32年4月> 準学士(文学)		兼担	教授	新井 敦子 <平成32年4月> 準学士(文学)		兼担	教授	新井 敦子 <平成32年4月> 準学士(文学)		兼担	教授	新井 敦子 <令和2年4月> 準学士(文学)		
		ホスピタリティビジネス				ホスピタリティビジネス				ホスピタリティビジネス				ホスピタリティビジネス エアラインビジネス エアライン実務 A エアライン実務 B 航空産業論		
兼担	教授	蘭 和真 <平成30年4月> 博士(医学)		兼担	教授	蘭 和真 <平成30年4月> 博士(医学)		兼担	教授	蘭 和真 <平成30年4月> 博士(医学)		兼担	教授	蘭 和真 <平成30年4月> 博士(医学)		
		スポーツ A スポーツ B				スポーツ A スポーツ B				スポーツ A スポーツ B				スポーツ (旧:スポーツ A、スポーツ B)		
兼担	教授	市川 千尋 <平成33年4月> 博士(経営学)		兼担	教授	市川 千尋 <平成33年4月> 博士(経営学)		兼担	教授	市川 千尋 <平成33年4月> 博士(経営学)		兼担	教授			
		国際金融論				国際金融論				国際金融論						
兼担	教授	井上 伸明 <平成31年4月> 修士(経営学)		兼担	教授	井上 伸明 <平成31年4月> 修士(経営学)		兼担	教授	井上 伸明 <平成31年4月> 修士(経営学)		兼担	教授			
		情報処理論 A 情報処理論 B				情報処理論 A 情報処理論 B				情報処理論 A 情報処理論 B						
兼担	教授	上野 真二 <平成31年4月> 修士(商学)		兼担	教授	上野 真二 <平成31年4月> 修士(商学)		兼担	教授	上野 真二 <平成31年4月> 修士(商学)		兼担	教授	上野 真二 <令和元年4月> 修士(商学)		
		会社法				会社法				会社法				会社法		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名					
			福島 純一 <令和元年4月> 修士(工学)	福島 純一 <令和元年4月> 修士(工学)	福島 純一 <令和元年4月> 修士(工学)	福島 純一 <令和元年4月> 修士(工学)	福島 純一 <令和元年4月> 修士(工学)
			准教授 兼担 情報リテラシー基礎A 情報リテラシー基礎B スポーツA スポーツB	准教授 兼担 情報リテラシーⅠ(旧:情報リテラシー基礎A) 情報リテラシーⅡ(旧:情報リテラシー基礎B) スポーツA スポーツB	准教授 兼担 情報リテラシーⅠ(旧:情報リテラシー基礎A) 情報リテラシーⅡ(旧:情報リテラシー基礎B) スポーツA スポーツB	准教授 兼担 情報リテラシーⅠ(旧:情報リテラシー基礎A) 情報リテラシーⅡ(旧:情報リテラシー基礎B) 情報リテラシーⅢ(旧:情報リテラシー応用A) 情報リテラシーⅣ(旧:情報リテラシー応用B) スポーツ(旧:スポーツA、スポーツB)	准教授 兼担 情報リテラシーⅠ(旧:情報リテラシー基礎A) 情報リテラシーⅡ(旧:情報リテラシー基礎B) 情報リテラシーⅢ(旧:情報リテラシー応用A) 情報リテラシーⅣ(旧:情報リテラシー応用B) スポーツ(旧:スポーツA、スポーツB)
			望月 洋佑 <平成31年4月> 修士(教育学)	望月 洋佑 <令和元年4月> 修士(教育学)	望月 洋佑 <令和元年4月> 修士(教育学)	望月 洋佑 <令和元年4月> 修士(教育学)	望月 洋佑 <令和元年4月> 修士(教育学)
			准教授 兼担 数字でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)	准教授 兼担 数字でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)	准教授 兼担 数字でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)	准教授 兼担 数字でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)	准教授 兼担 数字でよみとくビジネス (旧:ビジネス統計)
			藤原 純乃 <令和2年4月> 博士(工学)	藤原 純乃 <令和2年4月> 博士(工学)	藤原 純乃 <令和2年4月> 博士(工学)	藤原 純乃 <令和2年4月> 博士(工学)	藤原 純乃 <令和2年4月> 博士(工学)
				経営組織論	経営組織論	経営組織論	経営組織論
					兼担 兼担 ヘマンギ ゴークレ <令和2年4月> 修士(国際学)	兼担 兼担 ヘマンギ ゴークレ <令和2年4月> 修士(国際学)	兼担 兼担 ヘマンギ ゴークレ <令和2年4月> 修士(国際学)
					兼担 兼担 アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB 英語ⅤA 英語ⅤB 国際経済学A 国際経済学B	兼担 兼担 アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB 英語ⅤA 英語ⅤB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB	兼担 兼担 アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB 英語ⅤA 英語ⅤB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB
					兼担 兼担 広崎 心 <令和2年4月> 修士(経営学)	兼担 兼担 広崎 心 <令和2年4月> 修士(経営学)	兼担 兼担 広崎 心 <令和2年4月> 修士(経営学)
				健康科学	健康科学	健康科学	健康科学
兼担 講師		7-ツバキ ナス <平成30年4月> 学士(化学)イギリス	7-ツバキ ナス <平成30年4月> 学士(化学)イギリス	7-ツバキ ナス <平成30年4月> 学士(化学)イギリス	7-ツバキ ナス <平成30年4月> 学士(化学)イギリス	7-ツバキ ナス <平成30年4月> 学士(化学)イギリス	7-ツバキ ナス <平成30年4月> 学士(化学)イギリス
	環境論 資源環境・エネルギー論	環境論 資源環境・エネルギー論	環境論 資源環境・エネルギー論	環境論 資源環境・エネルギー論	環境論 資源環境・エネルギー論	環境論 資源環境・エネルギー論	環境論 資源環境・エネルギー論
兼担 講師		エドワーズ デビッド <平成30年4月> 修士(商学)イギリス	エドワーズ デビッド <平成30年4月> 修士(商学)イギリス	エドワーズ デビッド <平成30年4月> 修士(商学)イギリス	エドワーズ デビッド <平成30年4月> 修士(商学)イギリス	エドワーズ デビッド <平成30年4月> 修士(商学)イギリス	エドワーズ デビッド <平成30年4月> 修士(商学)イギリス
	経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B	経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B	経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B	経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B	経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B	経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B	経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B
兼担 講師		平 誠一 <平成33年4月> 修士(法学)	平 誠一 <平成33年4月> 修士(法学)	平 誠一 <令和3年4月> 修士(法学)	平 誠一 <令和3年4月> 修士(法学)	平 誠一 <令和3年4月> 修士(法学)	平 誠一 <令和3年4月> 修士(法学)
	国際政治外交史	国際政治外交史	国際政治外交史	国際政治外交史	国際政治外交史	国際政治外交史	国際政治外交史
兼担 講師		デンソレイバ 野村 <平成30年4月> 修士(生物学)イギリス	デンソレイバ 野村 <平成30年4月> 修士(生物学)イギリス	デンソレイバ 野村 <平成30年4月> 修士(生物学)イギリス	デンソレイバ 野村 <平成30年4月> 修士(生物学)イギリス	デンソレイバ 野村 <平成30年4月> 修士(生物学)イギリス	デンソレイバ 野村 <平成30年4月> 修士(生物学)イギリス
	生物学 ソシオ・バイオロジー	生物学 ソシオ・バイオロジー	生物学 ソシオ・バイオロジー	生物学 ソシオ・バイオロジー	生物学 ソシオ・バイオロジー	生物学 ソシオ・バイオロジー	生物学 ソシオ・バイオロジー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ハブロ ジェイ イブ ベッセル <平成30年4月> 修士(教育学) イギリス	情報リテラシー基礎A 情報リテラシー基礎B	兼任	講師	ハブロ ジェイ イブ ベッセル <平成30年4月> 修士(教育学) イギリス	情報リテラシー基礎A 情報リテラシー基礎B	兼任	講師	ハブロ ジェイ イブ ベッセル <平成30年4月> 修士(教育学) イギリス	情報リテラシー I (旧: 情報リテラシー基礎A) 情報リテラシー II (旧: 情報リテラシー基礎B)	兼任	講師	ハブロ ジェイ イブ ベッセル <平成30年4月> 修士(教育学) イギリス	情報リテラシー I (旧: 情報リテラシー基礎A) 情報リテラシー II (旧: 情報リテラシー基礎B)
兼任	講師	ハリソン プレント <平成30年4月> 学士(文学) イギリス	数学 ビジネス統計	兼任	講師	ハリソン プレント <平成30年4月> 学士(文学) イギリス	数学 ビジネス統計	兼任	講師	ハリソン プレント <平成30年4月> 学士(文学) イギリス	文系のための数学(旧:数学) 数学でよみとくビジネス(旧:ビ ジネス統計)				
兼任	講師	ハット ロド ネー <平成31年4月> 学士(数学) メキシコ	ビジネスインク リッパ I A ビジネスインク リッパ I B ビジネスインク リッパ II A ビジネスインク リッパ II B	兼任	講師	ハット ロド ネー <平成31年4月> 学士(数学) メキシコ	ビジネスインク リッパ I A ビジネスインク リッパ I B ビジネスインク リッパ II A ビジネスインク リッパ II B	兼任	講師	ハット ロド ネー <令和元年4月> 学士(数学) メキシコ	文系のための数学(旧:数 学)	兼任	講師	ハット ロド ネー <令和元年4月> 学士(数学) メキシコ	文系のための数学(旧:数 学)
兼任	講師	マレンバ'イー フレクサダ <平成30年4月> 学士(歴史学) イギリス	西洋史 東洋史	兼任	講師	マレンバ'イー フレクサダ <平成30年4月> 学士(歴史学) イギリス	西洋史 東洋史	兼任	講師	マレンバ'イー フレクサダ <平成30年4月> 学士(歴史学) イギリス	西洋史 東洋史 外書講読	兼任	講師	マレンバ'イー フレクサダ <平成30年4月> 学士(歴史学) イギリス	西洋史 東洋史
兼任	講師	森 由紀 <平成31年4月> 学士(経営情報学)	インターンシップ インターンシップ(実習) ICTビジネス講座	兼任	講師	森 由紀 <平成31年4月> 学士(経営情報学)	インターンシップ インターンシップ(実習) ICTビジネス講座	兼任	講師	森 由紀 <令和元年4月> 学士(経営情報学)	インターンシップ	兼任	講師	森 由紀 <令和元年4月> 学士(経営情報学)	インターンシップ インターンシップ(実習)
兼任	講師	山口 雄介 <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学	兼任	講師	山口 雄介 <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学	兼任	講師	山口 雄介 <平成30年4月> 修士(心理学)	心のしくみと行動の科学(旧: 心理学)	兼任	高教職 講師	山口 雄介 <平成30年4月> 修士(心理学)	心のしくみと行動の科学 (旧:心理学)
											福岡 兼任 講師	福岡 兼任 講師	アラガノ ロベリン <令和2年4月> 修士(教育学)	アラガノ ロベリン <令和2年4月> 修士(教育学)	
															数字でよみとくビジネス(旧: ビジネス統計)
兼任	講師	吉田 雅彦 <平成31年4月> 修士(工学)	経営組織論	兼任	講師	吉田 雅彦 <平成31年4月> 修士(工学)	経営組織論	兼任	講師	吉田 雅彦 <平成31年4月> 修士(工学)	経営組織論				
				福岡 兼任 講師		ラザ マニー <平成30年4月> 学士(教育学)	英語IV A 英語IV B	福岡 兼任 講師		ラザ マニー <平成30年4月> 学士(教育学)	英語IV A 英語IV B	福岡 兼任 講師			
兼任	講師	ランドリガン ドン <平成31年4月> 学士(人文学) イギリス	英語V A 英語V B	兼任	講師	ランドリガン ドン <平成31年4月> 学士(人文学) イギリス	英語V A 英語V B	兼任	講師	ランドリガン ドン <平成31年4月> 学士(人文学) イギリス	英語V A 英語V B				
												福岡 兼任 講師	福岡 兼任 講師	高島 叶人 <令和2年4月> 修士(比較社会文化)	高島 叶人 <令和2年4月> 修士(比較社会文化)
												福岡 兼任 講師	福岡 兼任 講師	矢城 信吾 <令和2年4月> 修士(数理学)	情報処理論A 情報処理論B
												福岡 兼任 講師	福岡 兼任 講師	角南 英郎 <令和3年4月> 博士(経済学)	国際金融論
												福岡 兼任 講師	福岡 兼任 講師	太田 智之 <令和3年4月> 博士(国際開発学)	社会学概論
												福岡 兼任 講師	福岡 兼任 講師	于 曉東 <令和3年4月> 博士(商学)	経営管理論A 経営管理論B 国際経営論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名	
兼任	講師	吉田 和裕 <平成30年4月> 学士(体育学)	健康科学	兼任	講師	吉田 和裕 <平成30年4月> 学士(体育学)	健康科学	兼任	講師	吉田 和裕 <平成30年4月> 学士(体育学)	健康科学	兼任	講師	吉田 和裕 <平成30年4月> 学士(体育学)	健康科学	
兼任	講師	吉原 さくら <平成32年4月> 修士(経営学)	ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ A ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ B	兼任	講師	吉原 さくら <平成32年4月> 修士(経営学)	ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ A ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ B	兼任	講師	吉原 さくら <平成32年4月> 修士(経営学)	ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ A ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ B	専	教授	ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ I A ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ I B ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ III A (旧: ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ II A) ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ III B (旧: ｷｯﾌﾟﾝﾞﾞｲﾝ II B)		
兼任	講師	渡部 和隆 <平成30年4月> 修士(文学)	哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II	兼任	講師	渡部 和隆 <平成30年4月> 修士(文学)	哲学 I 哲学 II 倫理学 I 倫理学 II									
				浪谷	講師	海上 知明 <平成31年4月> 博士(経済学)	日本史 I 日本史 II 環境と社会生活(旧:環境論)	浪谷	講師	海上 知明 <令和元年4月> 博士(経済学)	日本史 I 日本史 II 環境と社会生活(旧:環境論)	浪谷	講師	海上 知明 <令和元年4月> 博士(経済学)	日本史 I 日本史 II	
				浪谷	講師	笠井 亮平 <平成31年4月> 修士(国際政治学)	政治学 I 政治学 II	浪谷	講師	笠井 亮平 <令和元年4月> 修士(国際政治学)	政治学 I 政治学 II	浪谷	講師	笠井 亮平 <令和元年4月> 修士(国際政治学)	政治学 I 政治学 II	
				浪谷	講師	黒田 正平 <平成31年4月> 修士(教育学)	文学をよむ文化を知る(旧:文学)	浪谷	講師	黒田 正平 <令和元年4月> 修士(教育学)	文学をよむ文化を知る(旧:文学)	浪谷	講師	黒田 正平 <令和元年4月> 修士(教育学)	文学をよむ文化を知る(旧:文学)	
				浪谷	講師	佐藤 一明 <平成31年4月> 学士	文系のための数学(旧:数学)									
				浪谷	講師	宗宮 邦裕 <平成31年4月> 修士(教育学)	東洋史	浪谷	講師	宗宮 邦裕 <令和元年4月> 修士(教育学)	東洋史	浪谷	講師	宗宮 邦裕 <令和元年4月> 修士(教育学)	東洋史	
				浪谷	講師	高橋 庄子 <平成31年4月> 修士(経営学)	中国語 I A 中国語 I B	浪谷	講師	高橋 庄子 <令和元年4月> 修士(経営学)	中国語 I A 中国語 I B	浪谷	講師	高橋 庄子 <令和元年4月> 修士(経営学)	中国語 I A 中国語 I B	
				浪谷	講師	滝本 祥子 <平成31年4月> 修士(教育学)	心のしくみと行動の科学(旧:心理学)	浪谷	講師	滝本 祥子 <令和元年4月> 修士(教育学)	心のしくみと行動の科学(旧:心理学)	浪谷	講師	滝本 祥子 <令和元年4月> 修士(教育学)	心のしくみと行動の科学(旧:心理学)	
				浪谷	講師	建宮 努 <平成31年4月> 博士(総合社会文化)	簿記原理 I A 簿記原理 I B									
								浪谷	講師	曹 勤 <令和2年4月> 修士(経営学)	簿記原理 I A 簿記原理 I B 会計学 A 会計学 B	浪谷	講師	曹 勤 <令和2年4月> 修士(経営学)	会計学 A 会計学 B	
				浪谷	講師	野口 智代 <平成31年4月> 学士(文学)	英語 I A 英語 I B	浪谷	講師	野口 智代 <令和元年4月> 学士(文学)	英語 I A 英語 I B	浪谷	講師	野口 智代 <令和元年4月> 学士(文学)	英語 I A 英語 I B	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
								淡谷 兼任 講師			淡谷 兼任 講師
								森田 光 <令和2年4月> 学士(経済学)			森田 光 <令和2年4月> 学士(経済学)
								キャリアデザインIA キャリアデザインIB			キャリアデザインIA キャリアデザインIB
								白男川 恵 <令和2年4月> 学士(理学)			白男川 恵 <令和2年4月> 学士(理学)
								情報リテラシーⅢ(旧: 情報リテラシー応用A) 情報リテラシーⅣ(旧: 情報リテラシー応用B)			情報リテラシーⅢ(旧: 情報リテラシー応用A) 情報リテラシーⅣ(旧: 情報リテラシー応用B)
								生田 章一 <令和2年4月> 学士(法学)			生田 章一 <令和2年4月> 学士(法学)
								資源環境・エネルギー論			資源環境・エネルギー論
								李 承宰 <令和2年4月> 博士(国際関係)			李 承宰 <令和2年4月> 博士(国際関係)
								国際関係論			国際関係論
								田中 寛治 <令和2年4月>			
								インターンシップ			
											フエリコ フランシスコ ベレス ガ ー <令和3年4月> 修士(日本文化) スペイン
											スペイン語IA スペイン語IB
											シコガ イチ コウ <令和3年4月> 修士(哲学) ロシア
											ロシア語IA ロシア語IB
											出川 清一 <令和3年4月> 学士(教育学)
											地理学I 地理学II
											三沢 謙和 <令和3年4月> 修士(経営学)
											簿記入門(旧:簿記原理IA) 簿記初級(旧:簿記原理IB)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**異動時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学生の資質向上を図るため、専門科目『SDプログラム』に「卒業論文A・B」（4年次配当科目、各2単位）を追加、ブルーノ カート クリスマン教授が担当予定。
- ・時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任 濱田幸裕教授から専任 麻生雅樹准教授に変更。
- ・時間割編成において、「英語ⅣA・B」を専任 麻生雅樹准教授から兼任 ラザ マニー 講師に変更。
- ・平成30年4月 ラザ マニー 講師就任。他学科（経済学科）に所属し、兼任として本学科の授業科目「英語ⅣA・B」を担当。
- ・設置届出書において、エドワーズ ディビッドは、本来「兼任」であったのを「兼任」と表記してしまいました。申し訳ありません。訂正させていただきます。

【令和元年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置することにより、1年次配当科目の教育担当者25名を追加。
（専任教授1名、専任講師1名、兼任教授8名、兼任准教授4名、兼任講師2名、兼任講師9名）
- ・福岡：専任セバスチャン ティケン教授の辞任により、「日本史Ⅰ・Ⅱ」は兼任竹川克幸教授に、「ROSE（海外語学・経済研修）」は専任椿健太郎准教授に、「経済学A・B」は新規採用の専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：専任アレクサンダー アンドリュウ 講師の辞任により、「文学（現：文学をよむ文化を知る）」は兼任大塚幸子講師に、「外書講読」は専任ブルーノ カート クリスマン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「マーケティング論A・B」を専任ブルーノ カート クリスマン教授から新規採用専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「哲学Ⅰ・Ⅱ」を兼任渡部和隆講師から新規採用専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「S. D. Seminar A・B」を専任椿健太郎准教授から専任麻生雅樹准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅡA・B」を専任濱田幸裕教授から専任麻生雅樹准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任麻生雅樹准教授から新規採用専任ジョセフ マイヨール講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任渡部和隆講師の辞任により、「倫理学Ⅰ・Ⅱ」を兼任能木敬次講師に担当者変更。

【令和2年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置したことにより、令和2年度、渋谷キャンパスの2年次配当科目の教育担当者11名を追加。（兼任教授2名、兼任准教授3名、兼任講師6名）
- ・学生の短期海外留学を推進するため、「ROSE（海外研修）Ⅱ」（2年次配当）及び「ROSE（海外研修）Ⅲ」（3年次配当）を新規追加し、福岡は 専任椿健太郎准教授、渋谷は兼任古賀郁人教授が担当。
- ・福岡：専任濱田幸裕教授の辞任により、「基礎ゼミA・B」は新規配置専任吉原さくら准教授に、「総合英語ⅡA・B」は専任ジョセフ・マイヨール教授に担当者変更。
- ・福岡：専任ネルソンフミコ教授の辞任により、「7th シンポジウムⅠA・B」及び「7th シンポジウムⅡA・B」は新規採用専任メルヒサトハヤシ准教授に担当者変更。
- ・福岡：専任竹田津知子教授の新規配置により、「インターンシップ（実習）」を兼任森由紀講師から担当者変更。
- ・福岡：専任メルヒサトハヤシ准教授の新規採用により、専任ジョセフマイヨール教授の「英語ⅢA・B」及び兼任バルドロメロホー 講師の「ビジネスリソウⅠA・B」をメルヒサトハヤシ准教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任島島叶人講師の新規採用により「ICTビジネス講座B」を兼任森由紀講師から担当者変更。
- ・福岡：兼任井上伸明教授の辞任により「情報処理論A・B」を新規採用兼任矢城信吾講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任ランドリガン講師の辞任により「英語ⅤA・B」を専任ジョセフマイヨール教授に担当者変更
- ・福岡：兼任鶴石蘭准教授の辞任により「簿記原理ⅠA・B」を兼任谷和也教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任市川千尋教授の神戸キャンパス転属により「国際金融論」を兼任八杉哲教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任ハリソンブレント講師の辞任により「文系のための数学（旧：数学）」を兼任バルドロメロホー 講師に「数字でよみとくビジネス（旧：ビジネス統計）」を兼任アラゴノロベリン講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任吉田雅彦講師の辞任により「経営組織論」を兼任篠原淳講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任床並征生講師の辞任により「経営管理論A・B」を兼任篠原淳講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任濱田瑠璃講師の辞任により「スペイン語ⅠA・B」「スペイン語ⅡA・B」を兼任ロドリゴMエレーラ 講師に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「ビジネスリソウⅠA・B」を兼任バルドロメロホー 講師から専任椿健太郎准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「アカデミックライティングⅠA・B」を兼任古賀郁人教授から新規採用兼任ヘマンギョークレ准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「健康科学」を兼任赤瀬朋秀教授から兼任田崎心准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「文系のための数学（旧：数学）」を兼任佐藤一朗講師から兼任川村哲也講師に担当者変更。
- ・渋谷：兼任建宮務講師の辞任により、「簿記原理ⅠA・B」を兼任曹勤講師に担当者変更。

【令和3年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置したことにより、令和3年度、渋谷キャンパスの3年次配当科目の教育のため、
- ・6人の教員（専任准教授1人、専任講師1人、兼任教授3人、兼任准教授1人）が新たに3年次配当科目を担当。
- ・本学科のグローバル化を推進するため、基礎・語学系科目の第二外国語グループに、「ロシア語ⅠA・B」（1年次配当）及び「ロシア語ⅡA・B」（2年次配当）を新規追加し、福岡は兼任松崎進一講師が担当。渋谷は兼任タンコヴィッチユリア講師が担当。
- ・学生の語学留学を推進するため、「EIP（インテンシブ海外研修）Ⅰ」（1年次配当）及び「EIP（インテンシブ海外研修）Ⅱ」（2年次配当）を新規追加し、福岡は専任椿健太郎准教授が担当、渋谷は兼任古賀郁人教授が担当。
- ・学生の就職希望の中に「修得した語学力を活かし、将来、航空業界の仕事に就きたい」との希望があり、新たに「エアラインビジネス論」「エアライン実務A・B」（2年次配当）及び「航空産業論」（3年次配当）の4科目（担当予定：福岡：兼任新井敦子教授）を新規追加した。
- ・福岡：「専門ゼミⅠ・Ⅱ」及び「卒業論文A・B」において、より細やかな研究指導を実施するため、少人数クラスを編成。従来のブルーノカートクリスマン教授に加え、専任麻生雅樹教授を配置し二人体制とした。
- ・福岡：スベラタマリア講師の新規専任採用に伴い、「日本史Ⅰ・Ⅱ」（兼任竹川克幸教授）、「英語ⅣA・B」（兼任ラザマニー講師）及び「アカデミックライティングⅠA・B」（専任メルヒサトハヤシ准教授）を専任スベラタマリア講師に担当者変更。
- ・福岡：専任ジョセフマイヨール教授の他学部異動に伴い、「英語ⅤA・B」を専任スベラタマリア講師及び「総合英語ⅡA・B」を専任麻生雅樹教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任ラフマン教授の定年退職に伴い、「社会学概論」を兼任太田智之講師に、「国際関係論」を専任スベラタマリア講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任アーンショウキース講師の辞職に伴い、「環境と社会生活（旧：環境論）」を兼任デジレロイバルテレミ講師に、「資源環境・エネルギー論」を兼任内田浩幸教授に担当者変更。
- ・福岡：兼任中村彰夫の辞任に伴い、「地理学Ⅰ・Ⅱ」を兼任桑浦知仁講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任大塚幸子講師の辞任に伴い、「文学をよむ文化を知る（旧：文学）」を兼任井昌平教授に担当者変更。
- ・福岡：「中国語ⅢA・B」の科目廃止に伴い、兼任陳月華准教授は「中国語ⅡA・B」を担当。
- ・福岡：時間割編成において、「S. D. Seminar A・B」及び「地域貢献Ⅰ」を専任麻生雅樹教授から専任竹田津知子教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「基礎ゼミA・B」及び「地域貢献Ⅱ」を専任吉原さくら准教授から専任竹田津知子教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任メルヒサトハヤシ准教授から専任麻生雅樹教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「外書講読」を兼任マクレーンベリアーアレクサンダー 講師から専任椿健太郎准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「くらしと法（旧：憲法Ⅰ）」及び「日本国憲法（旧：憲法Ⅱ）」を兼任後藤浩士講師から専任メルヒサトハヤシ准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「会社法」（兼任上野真二教授）及び「経営組織論」（兼任篠原淳講師）を専任メルヒサトハヤシ准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「経営管理論」（兼任篠原淳講師）及び「国際金融論」（兼任八杉哲教授）を兼任于映爽講師に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「国際金融論」を兼任八杉哲教授から兼任角南英郎講師に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「情報処理論A・B」を兼任矢城信吾講師から兼任教授長濱和代教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「インターンシップ（実習）」を専任竹田津知子教授から兼任森由紀講師に担当者変更。
- ・渋谷：専任高橋宏誠教授の辞任により、「S. D. Seminar A・B」を新規専任マクレーン+グスタフ・ドラン講師に、「基礎ゼミA・B」「リーダーシップⅠA・B」を兼任望月洋准教授に担当者変更。
- ・渋谷：専任ルイス ヌド マンリ講師の辞任により、「経営学A・B」「マーケティング論A・B」を兼任増田昌幸准教授に担当者変更。
- ・渋谷：兼任小松久生教授の辞任により、「地理学A・B」を兼任出川清一講師に、「地域再発見」を兼任金森慶一教授に担当者変更。
- ・渋谷：兼任川村哲也講師の辞任により、「文系のための数学（旧：数学）」を兼任森下あや子教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「健康科学」を兼任田崎心准教授から兼任赤瀬朋秀教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「経済学A・B」を兼任スラヤタスノバ講師から兼任辻本政雄准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「環境と社会生活」を兼任海上知明講師から兼任辻本政雄准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「資源環境・エネルギー論」を兼任生田章一講師から兼任辻本政雄准教授に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「簿記入門（旧：簿記原理ⅠA）」及び「簿記初級（旧：簿記原理ⅠB）」を兼任曹勤講師から兼任三沢義和講師に担当者変更。
- ・渋谷：時間割編成において、「国際経済学A・B」を新規専任ヘマンギョークレ准教授から兼任多田徳教授に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	2	2	0	8	0	5	3	3	0	11	0
(4)	(2)	(2)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	3	3	0	11	0	5	3	3	0	11	0
[+1]	[+1]	[+1]	[-]	[+3]	[-]	[+1]	[+1]	[+1]	[-]	[+3]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授：65 准教授、講師：60 歳	0	0
	名	名

・ 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{8} = \boxed{137.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	後任・選任・後任の理由	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	後任・選任・後任の理由	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	教授	セバーストン デイケン	H31.3		選択	日本史 I	②					
					選択	日本史 II	②					
					選択	ROSE (海外語学・経済研修)	①					
					選択	経済学 A	①					
2	講師	アレクサンダー アンドリュ	H31.3		選択	文字 (漢・文字をよむ文化を知る)	②					
					選択	外書講読	①					
3	教授	濱田 幸裕	R2.3		必修	基礎ゼミ A	①					
					必修	基礎ゼミ B	①					
					選択	総合英語 II A	①					
					選択	総合英語 II B	①					
4	教授	ネルソン フミコ	R2.3		選択	7か7ミクラーイニング I A	①					
					選択	7か7ミクラーイニング I B	①					
					選択	7か7ミクラーイニング II A	①					
					選択	7か7ミクラーイニング II B	①					
5	教授	ジョセフ マイヨール	R3.3		選択	英語 V A	①					
					選択	英語 V B	①					
					選択	総合英語 II A	①					
					選択	総合英語 II B	①					
6	教授	高橋 宏誠	R3.3		必修	S. D. Seminar A	①					
					必修	S. D. Seminar B	①					
					必修	基礎ゼミ A	②					
					必修	基礎ゼミ B	②					
					選択	リーダーシップ I A	②					
7	講師	7ルマス'ヤット'オス'マンア	R3.3		必修	経営学 A	②					
					必修	経営学 B	②					
					選択	マーケティング論 A	②					
					選択	マーケティング論 B	②					
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
7	人	必修	8	科目	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目		
		選択	21	科目	選択	14 科目	選択	7 科目	選択	0 科目		
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	29	科目	計	18 科目	計	11 科目	計	0 科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
7	人	必修	8 科目	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目		
		選択	21 科目	選択	14 科目	選択	7 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	29 科目	計	18 科目	計	11 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{7}{8} = \boxed{87.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 専任教員3人の辞任に伴い、スベラタ マリア講師・ヘマンギ ゴークレ准教授・マククリーン ニカラス ドナルド ライアン 講師の3人を新規採用及び配置換えにより後任者として本学科に配置し、学生への影響が出ないよう対応することができた。なお、いずれもネイティブの教員の起用であり、学科の特性をさらに高めることができるものと思料する。</p> <p>「学生への周知方法」 学生への周知については、年度当初の履修ガイダンスにおいて担当者変更の旨を周知し、学生の混乱はなかった。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和□□年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和□□年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会 ・ SD委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD委員会 必要に応じ開催、構成員；福岡：教員8名、渋谷：教員：教員9名</p> <p>SD委員会 必要に応じ開催、構成員；福岡：教職員6名、渋谷：教職員4名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD推進のための企画及び実施に関すること。 ・ FDに関する報告書等の作成に関すること。 ・ FDに関する調査・研究に関すること。 ・ 教育内容及び教育環境の改善に関すること。 ・ 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。 ・ 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。 ・ 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」 ・ その他FDの推進及び委員会に関すること。 <p>SD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SD推進のための企画及び実施に関すること。 ・ SDに関する報告書等の作成に関すること。 ・ SDに関する調査・研究に関すること。 ・ 事務職員及び教育職員の大学運営についての資質開発を図るための組織的な研修に関すること。 ・ その他、学長の諮問する事項等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>FD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法についての研究 ・ 学生による授業評価アンケートの企画・実施 ・ 教員による授業参観の企画・実施 ・ 学生指導要領の検討、特に中途退学防止について
--

- ・ 新任教員のための研修会の企画・実施
- ・ 学外FDフォーラム等研修会への参加

SD委員会

- ・ 職員の資質向上を図るための普及教育
- ・ 新任職員のための研修会
- ・ 学外SDフォーラム等研修会への参加

b 実施方法

FD委員会

- ・ 授業評価アンケートの企画・実施及び評価
- ・ 教員による授業参観の企画・実施及び改善事項の徹底
(学生による授業評価アンケート結果が高い教員の授業実施要領を研修し参考にする。)
- ・ 全教員のための研修会の企画・実施
- ・ FD委員会において、教員の資質向上に関する事項の検討
- ・ FD委員会における懸案事項を各学科長から各学科の教員に伝達し情報を共有する。
- ・ 内容により、全教員対象の研修会の実施、または全教員へのメール送信による徹底

SD委員会

- ・ 職員のための研修会の企画・実施
- ・ 内容により、全職員対象の研修会の実施、または全職員へのメール送信による徹底

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会

- | | |
|--------------------------|--|
| ・ Web履修登録における学生の指導要領について | R2. 3.19 教員研修 48名参加（福岡） |
| ・ 感染防止対策及び新着任教員研修会 | R2. 4. 3 教職員研修 51名参加（福岡）
R2. 4. 3 教職員研修 39名参加（渋谷） |
| ・ オンライン授業（ZOOMの操作要領）研修会 | R2. 4.25 教員研修 75名参加（福岡）
R2. 4.22 教員研修 39名参加（渋谷） |
| ・ FD・SD研修会（ハラスメント防止について） | R2. 7. 9 教職員対象 74名参加（渋谷） |
| ・ 教職員研修会（学内教員研究発表会） | R2. 7.30 教職員対象 74名参加（渋谷） |
| ・ オンライン授業（TEAMS操作要領）研修会 | R2.9.8~9 教員研修 64名参加（福岡）
R2.9.7~8 教員研修 34名参加（渋谷） |
| ・ 教職員研修会（学内教員研究発表会） | R2. 9.26 教職員対象 70名参加（渋谷） |
| ・ 令和2年度秋学期授業評価アンケート | R2.12.21~R3.1.19 全教員対象（福岡・渋谷） |

SD委員会

- | | |
|--------------------------|--|
| ・ 感染防止対策及び新着任教員研修会 | R2. 4. 3 教職員研修 51名参加（福岡）
R2. 4. 3 教職員研修 39名参加（渋谷） |
| ・ FD・SD研修会（ハラスメント防止について） | R2. 7. 9 教職員対象 74名参加（渋谷） |
| ・ 教職員研修会（学内教員研究発表会） | R2. 7.30 教職員対象 74名参加（渋谷） |
| ・ 防火扉及び「AED」の使用方法について | R2. 12.11 教職員対象 21名参加（福岡） |

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケート結果を各教員に配布し、授業の改善策、授業方法の工夫等を記入させた後、回収
- ・ 学生の視点に立った授業運営に努めるべく教員の意識向上
- ・ 学科所属教員の学科運営に関する意識の共有

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。春学期、秋学期とも14~15週目に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート結果（改善策を記入済）を簿冊にして大学図書館に設置するとともに、大学ホームページ上にアンケート結果を情報公開

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況
該当なし
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし
- c 委員会の審議事項等
該当なし
- d その他
該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容
該当なし
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

福岡キャンパスは4年目、渋谷キャンパスは3年目を迎えた。今年度のカリキュラム改訂において、さらにグローバル化を推進すべく、第二外国語に「ロシア語」を新たに追加するとともに、学生の語学留学を推奨するため、「EIP（インテンシブ海外研修）」を新規追加した。さらに「修得した語学力を活かし、将来、航空業界の仕事に就きたい」との学生の希望に応え、「エアラインビジネス」関係の専門科目4科目を新規に開講した。

経営学、経営管理、経営組織を中心に、現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動とを実践的な英語教育により培い、グローバルなビジネスを展開できるスキルを身に付けるとともに、卓越した英語力を駆使し世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するという本学科設置の目的が十分に理解され、更に魅力ある学科として広く認知されるものと思料する。

ネイティブ教員による実践的語学教育に加え、さらに海外提携校も着実に増加していることから、短期・長期留学制度を活用し、より卓越した英語力を身に付けることができる学科であることを更に広報していく。

今後とも、本学ホームページ等を活用し認知度の更なる向上を図るとともに、英語力の向上を希望する生徒及び高等学校への広報を強化し、設置の趣旨・目的が十分達成できるよう努めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・令和3年10月末 公表（予定）

b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定（令和3年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画
・令和6年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。